

地震災害復旧・復興支援に感謝 ～輪島市民まつり元気発信～

平成19年3月25日(日)に発生した能登半島地震により輪島の基幹産業(輪島塗、観光、食品、商店街など)は直接的な被害は勿論のこと、その後の風評被害による売上の減少に対面しています。現状は建物の復旧にとりかかりはじめていますが、復興とはほど遠い状況にあり、現在は激甚災害地区指定を受けた中で、能登半島地震中小企業復興支援対策事業に3商店街が復興計画策定にむけて復興委員会をすすめています。

輪島朝市は、4月11日いち早く営業を開始し、又危ぶまれていた「輪島市民まつり2007」も6月2日(土)・3日(日)盛大に行われました。輪島市長による「がんばる輪島」を声高に開会宣言の後、大勢の市民や観光客が見守るなか、マーチングドリル演奏、市内小・中・高校生による鼓笛隊、新潟からの応援きりが繰り出されたほか商店街(おかめ会)による「お楽しみ抽選会」、夜は、恒例の市民花火まつり(500発)。夜空に花を咲かせて、元気な輪島をアピールしました。

石川県をはじめ輪島市では、復興基金を新設し、又「まちづくり」と「地域コミュニティ再生」をテーマとした石川県庁内プロジェクトチームを発足されるなど、地震災害の復旧・復興を力強く後押ししていただいております。輪島塗や酒造にはなくてはならない土蔵の保全の道を探り始める民間の人たちもあり、感謝!感謝!我々も、風評被害対策に積極的に取り組み、一日も早い復旧・復興を図って参りたいと考えております。これからも皆様方の暖かいご支援・ご協力をお願いいたします。

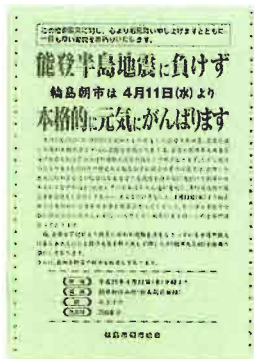
輪島市商店街連合会



鳳至地区



清水酒造



地震後の朝市(本格再開前)



建物倒壊により運ばれた建材の山が3つ。25万トンもの量。14年分のゴミの量に相当するという。

輪島市民まつり
2007
6/2(土)～3(日)



能登半島地震復興祈願 「がんばる輪島」

6月2日(土) 6月3日(日)

9:00 輪島市民まつり実行委員会 輪島市民まつり実行委員会

12:30 マーチングドリル演奏

13:00 島の観光大使大パレード

15:00 宇野節子トリオ行啓

20:00 輪島市民まつり大花火

輪島市民まつり2007

平成19年度 石川県商店街振興組合連合会・石川県商店街連合会 通常総会開催



石川県商店街振興組合連合会（県振連）と石川県商店街連合会（県商連）の平成19年度通常総会が去る5月28日（月）、金沢スカイホテルにおいて開催されました。

県振連の通常総会では東川理事長の挨拶の後、東川理事長が議長となり議案審議が進められ定款の一部改正、平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画（案）・収支予算（案）、役員補選について原案通り可決されました。また、平成19年1月に県知事並びに関係団体に「まちづくりに関する要望書」を提出したことを報告。

その後、来賓の石川県商工労働部経営支援課長の櫻井清隆氏よりご祝辞をいただきました。

引き続き県商連の通常総会が開催され、東川会長の挨拶の後、東川会長が議長となり議案審議が進められ平成18年度事業報告・収支決算報告、平成19年度事業計画（案）・収支予算（案）、役員補選について原案通り可決されました。また、平成19年1月に県知事並びに関係団体に「まちづくりに関する要望書」を提出したことを報告。

最後に来賓の金沢商工会議所中小企業相談所次長の大崎正直氏よりご祝辞をいただきました。

ここで、前任理事の方々のご苦勞に対し心よりお礼申し上げます。新役員の方は以下の通りです。

石川県商店街振興組合連合会

（敬称略）

振興組合名	新 役 員		前 役 員	
	役職	氏 名	役職	氏 名
山代温泉通り商店街振興組合	理事	佐内外喜男	理事	加藤 明彦

石川県商店街連合会

（敬称略）

商店街連盟（連合会）名	新 役 員		前 役 員	
	役職	氏 名	役職	氏 名
小松商店会連盟	理事	島村 敏行	理事	富沢 清信
七尾商店街連合会	理事	新城 純一	理事	左藤 英樹
加賀市商店会連盟※	理事	野手 博司	理事	矢田郷裕昭
加賀市商店会連盟※	理事	小崎 正信	理事	表 克己

※は当連合会総会終了以降に交代されましたのでお知らせいたします。



携帯電話うおーくありー ~ミニ美術館巡りで商店街ぶらり周遊~

例年よりも一週間早まって開催され、予想通り梅雨入り前の好天に恵まれた百万石まつりの協賛行事として、今年も「携帯電話うおーくありー」はここ「のれんが拵くあきない街」尾張町で行われました。

尾張町で行われました。

携帯電話片手に街を歩き、クイズに答えて、正解すると景品をもらう。これが基本形ですが、尾張町のうおーくありーはちょっとひねってます。

まず、尾張町には老舗の心意気を示し歴史の重みと商いに対するひたむきさを感じられる12箇所の「一品ミニ美術館」があります。また、それぞれのミニ美術館には案内フラッグが設置されていてクイズを解くにはそこに印刷されているQRコードを利用しています。いわば「あなるぐの街」で「デジタルの機能」が最大限活用されている、わけです。

我々はなかなか使いこなせない携帯電話の機能ですが、携帯各社はここに力を注いでいて、こういうイベントには決まってグッズを提供してくれます。子供たちはそれを目当てに大喜びで街



を歩いてくれました。いつもとは逆に子供たちに手を引かれたお母さんたちは見よう見まねで携帯画面を覗きこんでいます。そこにいつもは気付かない尾張町の新しい発見があったりします。

（詳しい模様は尾張町商店街公式ホームページ「絵日記」をご覧ください）

http://www.owaricho.jp/news/subject_2007/06023.html

ただ、反省点もあります。

6月2日～3日の土日に実施したのですが、土曜日の午後3時からは恒例の百万石行列が近くを通るため、午前中の賑わいが午後まで続かず、パレードには勝てなかったようです。次回は意識的に実施日を百万石行列当日から外すことも検討したいと思います。

イベントは継続することで火種が残り力もつきまします。来年はもっと趣向をこらしていきたいと思っています。何かいいアイデアがあったら是非お教えてください。そして、来年は是非尾張町を歩いて素晴らしい金沢を発見してください。

金沢市・尾張町商店街振興組合 理事長 高橋 徹



今に残る旧商家



「町民文化館」(百万石まつりポスター展)

中心市街地活性化協議会設置の状況

改正中心市街地活性化法第15条に基づき、まちづくりの司令塔としての協議会設置状況（平成19年1月末現在）は次のとおりです。

- 岐阜市中心市街地活性化協議会（以下略）（18. 8. 22）
- 富山市（18. 8. 30）
- 出雲市（18. 9. 19）
- 長野市（18. 9. 27）
- 豊後高田市（18. 10. 2）
- 砂川市（18. 10. 17）
- 神戸・新長田（18. 11. 20）
- 出雲市（18. 11. 28）
- 久留米市（18. 8. 30）
- 山口市（18. 9. 25）
- 和歌山市（18. 9. 29）
- 豊田市（18. 10. 10）
- 高松市（18. 11. 14）
- 青森市（18. 11. 24）
- 滝川市（18. 12. 4）

- 松江市（18. 12. 7）
- 高岡市（18. 12. 21）
- 久慈市（18. 12. 28）
- 伊賀市（19. 1. 17）
- 福知山市（19. 1. 19）
- 福井市（19. 1. 23）
- 八代市（18. 12. 19）
- 熊本市（18. 12. 26）
- 掛川市（19. 1. 15）
- 柏市（19. 1. 19）
- 金沢市（19. 1. 19）
- 盛岡市（19. 1. 23）

中心市街地活性化基本計画認定(内閣府)状況は次のとおりです。

- 青森市、富山市（19. 2. 8）
- 岩手県久慈市、金沢市、岐阜市、広島県府中市、山口市、高松市、熊本市、熊本県八代市、大分県豊後高田市、長野市、宮崎市（19. 5. 28）
- *人口5万人未満の都市も認定。

金澤表参道一周年祭

4月21日(土)・22日(日)「春の金澤表参道市」～表参道誕生一周年祭～と題して横安江町商店街の通りを使い、骨董市や古本市、能登まいもん広場などが軒をならべ、多くの皆様に来場していただくことができました。ありがとうございました。

商店街の催事ではありますが、多くの方にお力添えをいただき、今後に繋がる可能性を感じた、実りある催事となりました。その中の、いくつか事例をご報告いたします。

・21日は金沢東別院主催の「花まつり」も同時に行われ、今後ますますの協体制ができた事

・今回初の試みとして、商店街にある古書店や古美術店に協力を仰ぎ、市内各所から大勢の出店者を得ることができ、恒例の催事にすべく足がかりを築けた事

・能登まいもん広場では、能登半島地震で被災された方々も積極的に参加していただけた事 などです。



楽しい会話につきない「お休み処」

特に被災された方々に、能登まいもん広場へ参加のお願いをした際、当初はこんな時に大丈夫かと不安でしたが、「こんな時だからこそぜひ参加させて下さい!」と強い言葉をいただき、商店街側が逆に力をいただけたことに、この場を借りて感謝させていただきます。こういった、さまざまな方々に協力を得ることで、一周年祭を盛大に行えることができました。

今後は商店街の結束をより高め、知恵を出し合い、図々しいながら各方面のご協力もいただき、皆様に楽しんでいただけるまちづくりに邁進していきたいと思っております。

金沢市・横安江町商店街振興組合 理事 矩 一浩



被災地から元気出店協力

プレミアム・パスポート2008協賛企業募集

県内1750余の企業店舗が協賛しています。少子化社会に向け積極的に社会貢献しませんか。ビジネスチャンスとしての効果も期待できます。

- ・第1次募集 平成19年6月1日から10月31日
(情報誌・WEBにより店舗紹介)
- ・第2次募集 平成19年11月1日から随時
(WEBにより店舗紹介)
- ・申し込みは 申込書郵送、インターネットで申し込み

*能登半島地震により全壊・半壊・一部損壊した店舗(被害額5万円以上)の方は今年度の協賛金(5千円)はおりません。

- チャイルド・プレミアム協賛店を募集しています。
毎月19日!県民育児の日。全ての子育て家庭を応援しませんか。
- 「プレミアム・パスポート」サポーター企業を募集しています。

申し込み 財団法人 いしかわ子育て支援財団
電話 076-262-1530

ISICOから

平成19年度設備資金貸付制度・設備貸与制度のご案内

この制度は、機構が中小企業者や未創業者、創業後1年未満の方が希望される設備を現金一括払いで購入し、これを長期・低利で割賦またはリースするものです。

1 設備資金貸付制度

設備資金の1/2までを無利子で長期貸付、貸付7年以内、年・半年・月のいずれかにより均等償還。割賦損料年2.75%

2 設備貸与(割賦リース)制度

設備を機構が購入し、長期・低利で貸付。リース期間3~7年。リース料は毎月定額支払い。割賦利率年2.75%、リース料率1.408%(7年)~3.006%(3年)(利子助成あり)

お問い合わせ 財団法人石川県産業創出支援機構
電話 076-267-1174

「商店街振興組合法施行規則の全部を改正する省令」(平成19年4月1日施行)

改正の内容は、

- 1 財産目録の作成 組合が作成すべき財産目録について必要な部又は項目を定める。「資産の部」「負債の部」「正味資産の部」
- 2 貸借対照表の作成 組合が作成すべき貸借対照表について必要な部又は項目を定める。「資産の部」(流動資産、有形・固定資産、外部出資その他の資産、繰延資産)「負債の部」(流動・固定負債)「純資産の部」(組合員資本、評価・換算差額等)
- 3 損益計算書の作成 組合が作成すべき損益計算書について必要な部又は項目を定める。「事業収益の部」「賦課金等収入の部」「事業費用の部」「一般管理費の部」「事業外収益の部」「事業費用の部」「事業外費用の部」「特別利益の部」「特別損失の部」
- 4 剰余金処分案又は損失処理案の作成 組合が作成すべき剰余金処分案又は損失処理案財産目録について必要な部又は項目を定める。「当期末処分剰余金」「当期末処理損失金」「損失てん補取崩額」「剰余金処分額」「次期繰越剰余金」「次期繰越損失金」
- 5 事業報告書の作成 組合が作成すべき事業報告書について必要な部又は項目を定める。「事業活動の概況に関する事項」「運営組織の状況に関する事項」「その他組合の状況に関する重要な事項」

ただし、各組合は、平成19年4月1日以後はじめて到来した決算期に係る決算関係書類及び事業報告書の作成時から適用されます。(各部の項目は上記の次期から適用)

商店街にAED(自動体外式除細動器)を設置し、安全・安心のまちづくりをしませんか。

商店街は、地域の多くの人が集まる地域コミュニティの場でもあります。社会の高齢化に伴ない病院外での心疾患の発生も増加傾向にあり、その対応にはAEDの活用が非常に有効であるとされています。

今年度、国庫補助金の募集(第2次)よりしばらくの間、県振連等が実施整備する取り組み(任意の商店会、中心市街地内の商店街も含まれます。)についても国庫事業の対象とされました。県振連で希望を取りまとめておりますので、積極的にご活用のご検討をお願いします。

- ・実施主体 石川県商店街振興組合連合会
- ・補助事業名 少子高齢化等対応中小商業活性化事業
- ・補助率 1/2
- ・対象経費 AED本体、設置スタンド、表示パネル、AED使用に不可欠な消耗品(救急救命講習受講料、維持管理費、リース費用等対象外)
- ・その他 複数の方の救急救命講習会の受講が必要です。
受講終了をもって補助事業が終了となります。

消費生活用製品安全法改正法案が平成18年12月6日公布（公布から6か月以内施行）されました。

主な内容は、次のとおりです。

- 1 消費生活用製品の製造業者又は輸入業者は、重大製品事故が生じたことを知ったときは、その名称、自己の内容等を経済産業大臣に報告しなければなりません。
- 2 経済産業大臣は、その報告を受けた場合等、その製品の名称、事故の内容等を公表します。
- 3 消費生活用製品の小売販売業者、修理事業者又は設置工事事業者は、重大製品事故を知ったときは、その製品の製造事業者又は輸入業者に通知するよう努めなければなりません。
- 4 事故再発防止対策として、消費生活用製品の製造事業者又は輸入事業者は、事故原因を調査し、必要があると認められるときは、その製品の回収等の措置をとるよう努めなければなりません。
- 5 販売事業者は、その製品の回収等の措置に協力するよう努めなければなりません。

「中心市街地活性化シンポジウム」(中部経済産業局主催 平成18年11月7日 高岡市で開催)

コンパクトで賑わいあふれるまちづくり—多様な立場の方々が関わる中心市街地のまち育て—と題したシンポジウムが開催されました。

基調講演の後、彦根、小田原、高岡の各市で展開されているまちの賑わい創出の事例、ディスカッションがあり、それに携わる人たちが生き生きとして活躍する様が手に取るように感じられました。

1 基調講演 海道 清信氏(名城大学都市情報学部教授)

昔の日本、世界中の町もそうであったように、自動車が普及する、公共交通がどんどん郊外に波及する以前の町の姿を作り出していこうというのが、まさにコンパクトシティなまちづくりです。人とその結びつきこそ地域資源(ソシアル・キャピタル)である。

○コンパクトシティの様々な取り組み

- ・まちの全体像・将来像をどう描くか(計画作成)
 - 札幌、青森、豊田、名古屋市など
- ・具体的な中心市街地の活性化や再生の取り組み
 - 飯田、仙台市など
- ・まちなか居住の促進
 - 金沢、青森、京都、富山市など
- ・スプロール化する立地規制
 - 福島県、九州など
- ・既成市街地の開発優先の取り組み
 - 長野市など
- ・交通問題
 - 富山、高岡市など
- ・拡張型都市基盤の見直し
 - 岐阜県、愛知県犬山市
- ・伝統的なまち並み整備
 - 多数
- ・複数の生活拠点設定
 - 豊田市など
- ・周辺部の農業・農地問題
- ・様々な主体・関係者で取り組み
 - 多数

○シティセンターの価値

- ・歴史・文化・伝統がある。
- ・生活の質・アメニティの確保(楽しみの場、買い物・娯楽の場)
- ・都市型居住。交通・生活利便の都会的ライフスタイル
- ・経済発展(都市の活力としての幅広いサービス産業の拠点)
- ・市民民主主義(様々な考えの人が集まり一緒に暮らすパブリックスペース)

○日本のタウンセンター活性化策の問題

- ・総合的対策の欠如
- ・マネジメントの欠如
- ・効果的なパートナーシップの欠如
- ・政策に関するコンセンサスの欠如
- ・タウンセンターの自己分析の欠如

○シティセンター活性化の発展

すでに行政、商工会議所、各企業、商店街、交通事業者などによる様々な取り組みがなされているが、これからは、その方向性を決めて進めていく必要がある。

- ・商店街中心 → 都市の様々な機能を集積・連携し、魅力を高めていくこと
- ・個店尊重 → 地域特性の発揮
- ・魅力ある商品・サービス提供 → 商店街が一体となった商品・サービスの魅力提供
- ・不動産の所有・利用が個別 → 公共意識、長期安定収益志向の不動産経営
- ・基盤整備 → ソフトを前提としたハードの取り組み
- ・ワンパターンの空間デザイン → 魅力あるアーバンデザイン
- ・自動車アクセス → 公共交通、徒歩・自転車アクセス
- ・リーダー不在 → 企業・自治体・市民一体の推進組織・専門家の活動
- ・実行する計画、施策の効果チェック

2 彦根市

商工会議所(TMO)がファサード整備事業実施。それぞれの商店街が、町屋風、洋風、和風といったいろいろな形のとり組みを整備し、また市民組織としてのNPO(彦根景観フォーラム、湖東焼を育てる会など)とのかかわりのなかで歴史資源の活用などをはかっている。

①彦根夢京橋商店街(OLD NEW TOWN 古い良さを生かした新しい活気のみなぎる町)

- ・ファサード整備

- ・まち並み・まちづくり総合支援事業活用による、ポケットパーク、ストリートファニチャーベンチ、案内板等
- ・まちなみ再生事業による電線地中化、公衆トイレ、夢京橋あかり館(商店街出資(株)夢京橋)、招福本舗、俳遊館
- ・城下町まちなみ再生事業
- ・イベント「彦根ゆかたまつり」「いい福まつり」

②花しょうぶ通り商店街

- ・ファサード整備(24店)、カラー舗装、緑化、モニュメント(TMO)
- ・TMOテナントミックス レコードショップ、現代版寺子屋「街の駅」(商人塾)
- ・街の駅「寺子屋力石」(情報キオスク、下町情報)(市民・大学・商店街による実行委員会による運営)
- ・イメージアップ事業 大学・住民との懇談会「ふるあたらしい町」をコンセプトに
- ・和菓子屋の大壁画(大学と商店街連携)
- ・イベントアートフェスタ勝負市(フリーマーケット、大学と商店街連携)、ナイトバザール(毎月第2土曜日 100円で買える幸せ提供)
- ・ネット販売、「fact net」、[hanashoubu-st]による情報発信

③彦根銀座商業協同組合

- ・コミュニティ道路整備(アーケード、ブランター、フットライト、案内板、モニュメント)(TMO)
- ・まちと学生の交流の場 ACTステーション、イベントスペースQ(大学)

- ・リサイクルステーション(エコマーケット実行委員会がボランティア運営)

④彦根橋本町協同組合

- ・アーケード(建設中)
- ・自然の布館「よりのな」
- ・油屋の建物を活用したお休み処
- ・エコロジーとリサイクル 地元主婦グループ「よりのな」による生涯学習
- ・共同イベント開催

⑤登り町グリーン通り商店街 環境を考えたまちづくり(コンセプト)

- ・ファサード整備 アーケード撤去(TMO)
- ・県道三津彦松線のバリアフリー化
- ・グリーンレディス
- ・夏川記念館音楽ホール借り上げ(アーティストの発表の場)(商店街)

⑥おいでやす商店街

- ・ファサード整備 アーケード撤去(TMO)「彦根通り」をキャッチフレーズに「なまこ壁」と平瓦貼りでファサード
- ・おいでやす館 陶芸教室、カラオケ、懐メロ教室

⑦四番町スクエア共同組合

- ・ファサード整備「大正ロマン」(TMO)
- ・ひこね食番館「四番町ダイニング」駐車場(TMO)

⑧彦根商店街連盟

- ・夏の土曜夜市 えびす講大売出し(共同イベント)
- ・タウン誌「あっ」
- ・全市共通商品券事業(彦根商店街振興(株))
- ・ポイントカード事業(彦根CPカード(株))

3 小田原市・高岡市の事例(次回)

事務局からのお知らせ

この度、当連合会事務局が金沢商工会議所中小企業会館1Fより同ビル2Fに移転しましたのでご案内申し上げます。住所・電話・FAXは変わりません。